



「みがく むすぶ きりひらく」未来への一歩



春の足音が少しずつ近づいてきました。今年度も残すところあとわずかとなり、3月7日には高等部、3月14日には小・中学部の卒業式を迎えます。

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんは、この学校でたくさんの学びや経験を積み重ねてきました。新しいことに挑戦した日、友だちと力を合わせた日、思うようにいかず悩んだ日…そのすべてが、皆さんの成長の証です。一步一步、着実に前へ進んできたその姿こそが、何よりも誇らしいものです。

この学校で過ごした時間は、決して一人では歩めなかった道だったのではないのでしょうか。家族や先生、仲間たち、そして支えてくださった多くの方々の存在があったからこそ、今の皆さんがいます。だからこそこれから新しい世界へ踏み出すときには、出会う人たちとのつながりを大切にしてください。そして、自分を信じ、一步一步前へ進んでいってください。未来は、皆さん自身の手で「きりひらく」ものです。

本校の教育目標である「みがくむすぶきりひらく」の言葉のとおり、皆さんがこれからの人生で自分をみがき、新しい出会いを大切にむすび、未来をきりひらいていくことを心から願っています。

在校生の皆さん、卒業生の姿をしっかりと目に焼き付け、「次は自分たちの番だ」という気持ちで、日々の学びを大切にしていきましょう。卒業していく先輩たちが残してくれたものを受け継ぎながら、皆さんもまた、一人ひとりの目標に向かって成長してほしいと思います。

今年度も、保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校の教育活動を温かく見守り、支えていただきました。おかげさまで、子どもたちはたくさんの経験を積み、学び、成長することができました。心より感謝申し上げます。

校長 江口 直美



読書月間の取組より『おはなし給食』の御紹介

読書月間と給食月間の取組として『おはなし給食』を実施しました。おはなし給食とは、絵本に出てくる料理や食材を給食で提供する取組です。中心となったのは小学部中学年。昨年の9月から始まった授業で、最大30kgほどに育つ桜島大根の種を植え、水やりや草引きをして栽培しました。そしていよいよ収穫。約10kg程度に育った大根に紐をかけ、みんなで力を合わせて「うんこしょ！どっこいしょ！」の掛け声とともに紐を引っ張り大根を引き抜きました。

前日に給食室へ納品した桜島大根は切るだけでも大変そうでしたが、調理員さんの力でみんなが大好きなハヤシライスとなり子ども達のもとへ届きました。

収穫の際、子ども達からは「まだまだまだまだ抜けません。」という絵本のセリフが聞かれたり、給食の後で育てた大根が美味しかったと話してくれたりしたこと、授業をとおして『おおきなかぶ』という物語を実体験として学習できたことや、食への関心が育まれるきっかけとなりました。



種まき



収穫の練習



収穫



調理



実食



開校前からずっと本校の読書活動を支えてくださっているYSの皆様。何か御返しをしたいという思いから、YS活動後に、図書ラウンジの本の貸し出しチケットのプレゼントをスタート!! さっそくお子様と一緒に作るための料理の本や、御家族で遊べるカードゲームを借りてくださいました。今後もぜひ多くの保護者様にYS活動に御参加いただき、図書ラウンジの本を借りていただきたいと思います。

給食は 食を学ぼう!!給食月間の取組

「生きた教材」

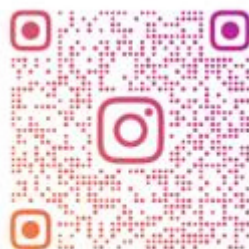


普段、給食を作ってくれる調理員さんの仕事を動画で見たり、配膳室を見学したりして勉強しました。

感謝の手紙には「苦手な野菜もがんばって食べるよ」「調理員さん休みながらがんばってくださいね」等温かいメッセージが寄せられました。

給食月間中は子どもたちのリクエスト給食や、やまぶき給食アジアツアー、おおきなかぶのおはなし給食等、楽しい給食が盛りだくさん! 毎日献立表の前で会話が広がる姿が見られました。これをきっかけに、少しでも食べることが楽しみになったり、食から子どもたちの世界が広がってほしいと思います。給食の様子は〔公式・給食〕京都府立井手やまぶき支援学校Instagramで発信しています。ぜひフォローをお願いします。(＃井手やまぶき支援学校 で検索してください)

InstagramID:YAMABOO20230116です。



YAMABOO20230116